

## 6/10開催 盛岡教育事務所管内 「地域とともにある学校づくり推進フォーラム」



今回のフォーラムでは、2名の実践発表者と1名の講師をお招きし、地域の実態に合わせた新しい仕組みやコーディネーターの役割と重要性について理解を深めることができました。

### 【実践発表について】

雫石町教育委員会事務局生涯学習スポーツ課社会教育指導員の下川恵司氏からは、「地域の実態に合わせた新しい仕組みづくり」と題して、学校運営協議会の工夫や地域連携のリフォームについて発表していただきました。

宮古市立山口小学校地域学校協働本部地域学校協働推進員の佐々木良恵氏からは、「地域学校協働活動推進員の役割と重要性」と題して、学校運営協議会で目指す子ども像を共有することが地域学校協働推進員の効果的な活用につながることに発表していただきました。

### 【講話について】

八幡平市教育委員会事務局総務課社会教育指導員兼 CS アドバイザーの藤嶋茂美氏から、2名の実践発表を受けて、目標共有の際のポイントや協働を進める際のポイントについて先進地域の事例をもとに説明していただきました。

藤嶋氏には、7月5日（火）に開催される、沿岸南部教育事務所管内のフォーラムでもパネルディスカッションをしていただく予定です。

### 【参加者アンケートより】

- 具体的な実践例とそれらを通してわかった課題やその解決方法について、説明いただいたことで、学校運営協議会の設置や運営のあるべき姿をイメージすることができました。
- コーディネーターの具体を伺うことができたのは本日の大きな成果であると感じています。佐々木さんのような方が配置されることで、ずいぶん進むのではないかと感じました。
- 本日の研修を受け、今やっている取組や資源をマネジメントしていけば、さらに学校運営が充実していくことが想像でき、今後どのようにしていこうか、ワクワクしました。とても充実し、学びの多い研修でした。本当にありがとうございました。
- 具体的に「何日に」「年に何回」「何人」「時間の長さは」「司会者は」など、示してもらったことで、これから開催する側としてイメージを持つことにつながり、とてもありがたい話でした。
- 地域とともにある学校づくりを推進していくためには、その必要感を現場が感じることがスタートになると考えます。そのためには、コミュニティ・スクール導入の経緯や狙いを今回のフォーラムをきっかけに各校の職員全体が共有できるようにしていかなければならないと感じました。人と人とのつながりが生きる活動だと感じました。

本通信は下記ホームページに掲載しています。（※ダウンロード可能）  
岩手県生涯学習情報提供システム「まなびネットいわて」  
<https://manabinet.pref.iwate.jp/hp/>



「まなびネットいわて」には、文部科学省が作成したパンフレットや全国の事例紹介があります。また、岩手県が作成した資料や県内の事例等の紹介もあります。ぜひ、ご覧ください。